

戦略兵器削減条約 せんりゃくへいきさくげんじょうやく

戦略核兵器を主体とした軍備削減条約。START（Strategic Arms Reduction Treaty）と略称される。1982年から米国とソ連の間で交渉が開始され、両国は1991年7月に第一次戦略兵器削減条約（START I）に調印した。これにより、戦略核弾頭の上限を制限するとともに、史上初めて戦略核兵器の削減を行うことを約束した。第二次戦略兵器削減条約（START II）は1993年1月に調印された。これは、START Iをさらに発展させ、2003年までに戦略兵器の弾頭数を3分の1に削減する内容であった。米国は1996年に批准したがロシアが批准しなかったため、削減期限を2007年に延長した議定書が結ばれた。しかし、この議定書に対しては、ロシアが批准したものの米国が批准を行わず、また、米国が2001年に弾道弾迎撃ミサイル制限条約を廃棄したこともあり、ロシアはSTART IIを実行しないこととした。また、1999年から第三次戦略兵器削減条約（START III）の協議も開始されたが、交渉は進展しなかった。こうした中で、戦略的安定を担保する新たな枠組みの構築に向けて、両国は戦略攻撃能力削減に関する条約（モスクワ条約）を2002年に締結した。

<登録年月>
2009年03月
